

第三次伊賀市子ども読書活動推進計画（中間案）に対するパブリックコメント一覧

意見番号	提出者番号	該当ページ	該当箇所	ご意見等	教育委員会の考え方	計画への反映
1	1	P2	(1) 子どもの読書活動の意義	子どもを十把ひとからげにしているように感じるので、「それぞれの発達段階において、」を挿入補足してはどうかと思います。 （原文）子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。 （修正案）子どもの読書活動は、それぞれの発達段階において、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。	子どもの読書活動で培われる力を育むためには、乳幼児期からの発達段階や読書を取り巻く状況の変化に留意する必要がありますが、当文章はこのことを念頭に置いて記載しています。	—
2	1	P2	(1) 子どもの読書活動の意義	文章的に主客が反対のように思いますがいかがでしょうか。それと「〇〇力」についてはいくつか入れてみました。 （原文）子どもは、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、理解力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。 （修正案）子どもは、さまざまな知識を得たり、多様な文化を理解したりしながら、語彙力、読解力、文章力、表現力、想像力、共感力、批判的思考力等を養っていきます。	子どもは読書を通じて様々な力を養うとともに、それらを活用することで知識を獲得したり理解を醸成したりしていきます。また、様々な力については「等」として表現しています。	—
3	1	P2	(1) 子どもの読書活動の意義	後の本文に「ジャンル」という言葉も使われていることや、私なりの思いを入れて文章を作ってみました。 （原文）また、さまざまな本等の資料を読み深めることで、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体験し、さらなる知的探求心や真理を求める態度が培われます。 （修正案）また、さまざまなジャンルの本や資料と出会い、主体的に学ぶ楽しさや知識を得る喜びの体験を重ねることで、さらなる読書への興味を喚起し、知的探求心や真理を求める態度が身につけていきます。	文意は変わりませんので、原文のままといたします。	—
4	1	P2	(1) 子どもの読書活動の意義	「なかまとともに一市民として」をあえて加え、読書活動は一人っきりの活動ではなく、市民総出でよりよい社会をつくっていく基礎力（市民力）だという内容にしてみました。私なりの思いで表現してみました。 （原文）それは、「知りたい、学びたい、理解したい」という生涯にわたる学習活動の基盤となるものであり、社会の多様な変化や課題と向き合い、より良い社会に変えていくという、未来を切り拓く力につながります。そのため、社会全体で子どもの読書活動を推進するための環境を整えることが極めて重要です。 （修正案）それは、「知りたい、学びたい、理解したい」という生涯学習の基盤をつくるとともに、社会の多様な変化や課題と向き合い、なかまとともに一市民としてより良い民主社会をつくっていくという、未来を切り拓く力につながります。そうしたことから、社会全体で子どもの読書環境を整えることは極めて重要です。	原文は、「なかまとともに……」といった提案者の思いを包含しています。	—
5	1	P2	(2) 子どもを取り巻く環境の変化	私なりに、重複する内容やくどい部分の削除、語句の使用を工夫してみました。何点かでもご採用いただければ幸いです。 （原文）近年、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備、少子高齢社会の到来、急速なグローバル化の進展、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けたデジタル技術の発展等、社会が大きく転換しています。これらのことが、家庭環境・生活環境の変化や価値観の多様化をもたらすと同時に、インターネットやスマートフォン等の新たな情報メディアの発達・普及は、子どもの読書環境にも大きな影響を与えている可能性があり、「読書離れ」「活字離れ」等が懸念されています。 （修正案）近年の感染症の世界的な拡大や、GIGAスクールの構想などデジタル環境の進展、社会の少子高齢化、グローバル等、社会が大きく変化しています。これらのことが、家庭環境・生活環境の変化や価値観の多様化をもたらすと同時に、インターネット環境の充実やスマートフォン等の機能の進化、AI技術の発達・普及は「読書離れ」「活字離れ」等、子どもの読書環境にも大きな影響を与えています。	「インターネットやスマートフォン等の新たな情報メディアの発達・普及」を、「インターネットやスマートフォン等の情報メディアの発達・普及」に修正します。 「GIGAスクール構想」は脚注をつけます。	○

6	1	P4~P5	(6)「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画」基本的な方針	基本的な方針をすっきりさせた文の方がわかりやすいように思います。 (原文)①子どもの読書環境の整備 子どもが様々な機会に様々な場所で本に接することができるよう、子どもの読書活動のための環境整備を進めます。 ②子どもが読書に親しむ機会の提供 子どもの発達段階に応じて、読書に親しむきっかけづくりや読書体験を深めるような機会等を提供します。 ③子どもの読書活動に関する啓発 読書に関する様々な取組や情報についての周知に努めるとともに、子どもの読書活動の意義や大切さの啓発に取り組めます。 (修正案)①子どもの読書環境の整備 子どもが様々な機会に様々な場所で本に接することができるようにします。 ②子どもが読書に親しむ機会の提供 子どもの状況に応じたきっかけづくりや読書体験が深まるようにします。 ③子どもの読書活動に関する啓発 取組や情報の周知、子どもの読書活動の意義や大切さを啓発します。	原文のままといたしますが、①の「読書環境の整備」は、本や資料、施設等の物的環境の整備だけでなく、読書ボランティア等の人的環境の整備、ネットワーク構築等の質的環境の整備も含めています。このことは、脚注をつけます。	○
7	1	P5	グラフ	P5の図は、P4にあるべきではないでしょうか。	P5の図は、「(5)これまでの取組の成果と課題」のところに移動します。	○
8	1	P6	(1)家庭	文中、「発達段階に応じて、」を挿入すると、対象者である子どもの成長に応じて、子どもへの対応に変化が必要であることがわかりやすいと思います。また、本を選ぶ行為を「図書館」だけでなく、「書店」も含めた形に表現したらどうかと思います。 (挿入)子どもの読書習慣は日常生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置付けられ継続して行われなければなりません。そのため、子どもにとって身近な存在である保護者が発達段階に応じて、意識して、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、図書館や書店に向いて本を選んだりするなど、子どもの読書機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たしていくことが求められています。	下記のように修正します。 「そのため、子どもにとって身近な存在である保護者が、子どもの発達段階に応じ、意識して読み聞かせをすることや、子どもと一緒に本を読むこと、図書館や書店に向いて本を選ぶことなど、子どもの読書機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たしていくことが求められています。」	○
9	1	P6	②読書に親しむ機会の提供	子どもの「年齢」も大事な尺度ではあるが、やはり「発達段階」の方が説得力があると思われれます。 (削除して加筆)図書館・分館や子育て支援センター等は、読み聞かせボランティア等と協力しておはなし会を実施したり、子どもの発達段階に応じた絵本の設置を拡充したりするなど、読書に親しむ機会の充実を図ります。	下記のように修正します。 「図書館・分館や子育て支援センター等は、読み聞かせボランティア等との協力によるおはなし会の実施や、子どもの発達段階に応じた絵本の設置の拡充等、読書に親しむ機会の充実を図ります。」	○
10	1	P6	④読書活動の啓発・奨励	初出のところなので、その日や期間を明示した方がよいと思います。「子ども読書の日(4月23日)」「文字・活字文化の日(10月27日)」「読書週間(10月27日~11月9日)」等の機会に、	「期日・期間」について、脚注をつけます。	○
11	1	P7	《図書館・分館における取組》	新図書館との兼ね合いで、このあたりの文章はどうされますか。削除されますか。ただ、上野図書館では、駐車場スペースや開架スペースが狭いこと、図書室においても、施設によっては十分なスペースが確保できないことなど、それぞれに課題がありました。そのため、図書館・図書室は必要な改善をし、また、新図書館建設に向けた検討を進めてきました。	左記の文章は、これまでの図書館・図書室の課題になっていたことなので、そのまま記載します。	—
12	1	P7~P8	②施設整備とサービスの充実	相談や調べ物の的確な対応を「レファレンス機能の充実」でまとめた方が後出の話ともつながるように思います。利用者から寄せられる相談や調べ物等、レファレンス機能の充実に努め、リクエストや予約制度のさらなる普及を図ります。	下記のように修正します。 「利用者から寄せられる相談や調べ物への的確な対応等のレファレンスサービスの充実に努め、リクエストや予約制度のさらなる普及を図ります。」 「レファレンスサービス」は脚注をつけます。	○
13	1	P8	③職員の配置と資質向上	「技術」より「スキル」の方が的確な表現かと思います。また、「研修会への参加」に限らず、幅広く「研修」でよいように思います。図書館・分館の職員は、子どもと本をつなぐ重要な役割を担っていることから、適切な配置及び専門的な知識やスキル向上のための研修に努めます。	下記のように修正します。 「図書館・分館の職員は、子どもと本をつなぐ重要な役割を担っていることから、適切な配置及び専門的な研修による知識やスキルの向上に努めます。」	○

14	1	P8	③障がいのある子どもへの対応	環境づくりだけではなく、関係する書籍を充実することも大切にしていただきたい。（挿入）障がいのある子どもが利用しやすい施設環境づくりや関係書籍の充実を務め、新規に施設整備を行う場合はユニバーサルデザインを取り入れます。	下記のように修正します。 「障がいのある子どもに向けたさまざまな図書資料の収集を行うとともに、利用しやすい施設環境づくり、子どもと本をつなぐ多様な活動に努めます。新規に施設整備を行う場合は、ユニバーサルデザインを取り入れます。相談業務の充実や、上野点字図書館との情報交換に努めます。」	○
15	1	P10	《中央公民館・地区市民センター等の取組》	地区市民センターについては、生涯学習支援員の存在もあり、いわゆる公民館活動の図書の整備も念頭においた取組が必要です。また、移動図書の運行が本格化していく中、単なる本の貸出場所の提供で終わらないように、運行が予定されている地域においては、移動図書の巡回時間をベースにさまざまな社会教育的な試みを模索していくことが必要です。（末尾に追加）③移動図書の巡回を活かした取組市立図書館や分館までの地理的不利さを補うため、移動図書の巡回受け入れを行う市民センターにおいては、子どもや保護者を対象にした読書活動の向上をめざした取組を進めます。	下記のように修正します。 ①読書活動に関する講座等の実施 「中央公民館で実施している読み聞かせボランティア養成講座を継続し、ボランティアの育成に努めます。 地区市民センターにおいて、図書館の団体貸出による図書の設置や、移動図書館を活用した読書活動の取組を進めます。」 下記の文章を②に移動します。 「中央公民館や地区市民センター等で開催される幼少期の子どもと保護者を対象にした講座に合わせ、子どもの読書活動の重要性について周知・啓発します。」	○
16	1	P10	(3) 学校等	年令については、発達段階の方が的確かと思えます。（削除加筆）保育所（園）・幼稚園・認定こども園では、乳幼児が発達段階に応じた遊びや本と出合うことで、人間形成の基盤となる豊かな心や、興味を持ったことに自ら関わろうとする意欲・行動力を育てていきます。	下記のように修正します。 「保育所（園）・幼稚園・認定こども園では、乳幼児が発達段階に応じた遊びや本と出合うことで、人間形成の基盤となる豊かな心や、興味を持ったことに自ら関わろうとする意欲・行動力を育てていきます。」	○
17	1	P11	(3) 学校等	学校が「かけがえのないものだ」と言われると、不登校をはじめ学校に行きづらい子どもはどうなるのかという感じなので、「大きな役割」でとどめてはどうかと思えます。（削除）学校は、子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していく上で、大きな役割を担っています。そのため、学校図書館年間計画等に基づくさまざまな取組を行い、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動や学習活動につなげていくことが求められています。	下記のように修正します。 「学校は、子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していく上で大きな役割を担っています。」	○
18	1	P11	(3) 学校等	課題意識はわかりますが、ゲームなどの一文はあえて、学校の項目に入れなくても良いと思えます。（削除）	地域や家庭での読書時間減少の理由として、敢えて記載しています。	—
19	1	P11	(3) 学校等	初出の「朝読」には「朝の読書活動」等、省略せず、わかりやすい言い方をお願いします。学校では、朝の読書時間（朝読）や読み聞かせの時間を設けたり、	「朝読」は脚注をつけます。	○
20	1	P11	(3) 学校等	家庭のことまで言及すべきか疑問です。（削除）学校図書館だけでなく学級文庫や行内に読書コーナーを設置したり、学校で子ども新聞を購読したりするなど環境づくりを進めてきています。	学校での読書時間が増えても家庭まで普及していない現状があることを踏まえ、保護者や家庭に向けた取組につなげていくために記載しています。	—
21	1	P11	④障がいのある子どもへの対応	前出の「地域」と同じで、「関連書籍を充実」しなければならないと思えます。（加筆）障がいのある子どもが利用しやすい施設環境の改善と関連書籍の充実に努めます。	下記のように修正します。 「障がいのある子どもが利用しやすい施設環境の改善と図書資料の充実に努めます。」	○
22	1	P11	④障がいのある子どもへの対応	どのような障がいを思い浮かべて記述されているか不明ですが、障がいがあるからと言って、「読書に対する興味を引き出すよう」という言い方はどうかと思えます。それぞれの発達段階に応じて興味は芽生えるでしょう。専門機関等と連携し、読書に関する相談業務の充実を図ります。	「興味を引き出す」とは、無理強いするのではなく、本に親しめる環境を整えることだと考えます。	—
23	1	P12	⑥保護者との情報交換	保護者との「協働」という要素についての表現がないのは残念です。園の図書室でいっしょに本を選ぶとか、いっしょに絵本を読むとかを計画的に取り入れます。 ⑥保護者との情報交換等や協働活動 園だよりの発行や絵本の紹介、貸出、情報交換、アドバイス等により、読書活動の大切さの理解を深めるとともに、保育者と保護者とが協働して読書活動を展開するなどして、家庭での積極的な読書活動につなげるよう啓発します。	保育者と保護者が園（所）において協働して読者活動に取り組むことまでは記載していませんが、情報交換等を行うことで家庭における読書活動につなげることが大切だと考えます。	—

24	1	P12	①学校図書館資料の整備	各校図書館の貸出システム等を統一し、職員の転勤にもスムーズに対応ができるようにしておくべきではないでしょうか。また、最近、各教科学習と連動した図書紹介や教科学習の発展的な内容の図書を紹介したり誘導したりすることが大切だと言われています。加えて地域を知るきっかけとなる図書の配備も特筆しておくべきだと思います。 (加筆) 学校図書館図書標準の達成、各校の実情、各校区地域の地理歴史等に応じた図書館資料の整備をするとともに、市内学校図書館のシステムの共通化を進めます。また、子どもが望む図書の提供や各教科学習内容等に関連する図書の充実紹介に努めます。	学校図書館システムの統一については課題の一つです。関係課で共有させていただきます。また、教科学習や郷土学習に係る図書資料の充実については、「各校の実情に応じた図書館資料の整備」に含めます。	—
25	1	P12	⑤障がいのある子どもへの対応	前出の「地域」と同じで、「関連書籍を充実」しなければならないと思います。 (加筆) 障がいのある子どもが利用しやすい施設環境の改善と関連書籍の充実に努めます。	下記のように修正します。 「障がいのある子どもが利用しやすい施設環境の改善と図書資料の充実に努めます。」	○
26	1	P12	⑤障がいのある子どもへの対応	どのような障がいを思い浮かべて記述されているか不明ですが、障がいがあるからと言って、「読書に対する興味を引き出すよう」という言い方はどうかと思います。すべての子どもに興味を引き出すようにしていくべき、それぞれの発達段階に応じて興味は芽生えると思います。専門機関等と連携し、読書に関する相談業務の充実を図ります。	「興味を引き出す」とは、無理強いするのではなく、本に親しめる環境を整えることだと考えます。	—
27	1	P13	⑥読書に対する興味や関心を高める取組の推進	児童会や生徒会活動の図書委員会等、児童生徒の自主性を活かした図書に関する活動を指導し促進することが臨まれていると思います。学校図書館年間計画等に基づく朝読や読み聞かせ時間の確保、読書週間の設定、読書感想文やビブリオバトルの取組等、児童生徒の委員会活動などの自主性を活かした活動を通じて、意図的に読書活動に取り組む機会を作ります。	⑥に下記の文章を加えます。 「児童会・生徒会活動の中で取り組んでいる図書委員会等の自主的・実践的な活動を通して、読書活動の充実を図ります。」	○
28	1	P13	⑧市立図書館との連携	市立図書館との連携が「言語活動の充実につながる」というべきなのか、疑問ですので、下記のようにとどめてはどうでしょうか。 (削除加筆) 市立図書館と連携し、学習活動に必要な図書資料の貸出や団体貸出等を活用し、児童生徒のさらなる興味関心を高めます。	下記のように修正します。 「市立図書館と連携し、学習活動に必要な図書資料の貸出や団体貸出等を活用することで、児童生徒の読書に対する興味関心をさらに高めます。」	○
29	1	P13	⑨家庭に向けた取組の推進	地域の分館も廃止統合されるこれからの時代、地域では移動図書の取組も進められますが、図書館図書室には移動図書では味わえない役割があります。今後、学校司書も配備が進めば、地域の方々にも学校図書館を地域の拠点として、従来の学校開放同様に、開放していくべき時代が来ると思います。 (末尾に追加) ⑨家庭に向けた取組の推進と地域への図書館開放の試み・状況等を周知したりします。また、保護者や地域に対する図書館開放の試みを進めます。	学校図書館の地域への開放は一部の学校で実施していますが、今後、各学校の状況により検討していきます。	—
30	1	P15	(2) 多様な主体との連携・協力	伊賀市にとって、人づくりや地域づくり、そして未来のために、書店(本屋さん)の存在は貴重です。書店業を組織化し生涯学習団体として位置づけてはどうでしょうか。また、本屋さんでお気に入りの本を自腹で購入するという行為は、人と本が強くつながる役割を担っています。文章に「貴重な」「発信」「自己の所有のために本を購入するという行為を通じて、」「強く」などを挿入したらどうでしょうか。 すべての子どもの読書環境を整備するため、家庭・地域・学校等を始め、企業・団体等の多様な主体が相互に連携・協力し、効果的な事業実施に努めます。なかでも、書店は地域の貴重な文化発信の拠点であり、自己の所有のために本を購入するという行為を通じて、人と本を強くつなぐ役割を担っています。子どもの読書活動推進のため、市内書店業を組織化し生涯学習団体として位置づけ、地元書店との連携を強めます。	提案者の思いは理解いたしますが、文章表記は原文のままとさせていただきます。	—
31	2	P9	⑪読み聞かせボランティアグループとの連携	地域で月に3回程度の読み聞かせボランティアの活動をしています。ボランティアをされている人たち全員の研修会(講師の方をお呼びして)は開催されますが、グループどうしの情報交換会、交流などは今のところ開催されていません。経験の少ない3~4人程度の人数で活動していますが、いつも不安を持ちながら活動しています。経験豊富な人たちの活動を学びたいと思っています。	図書館・図書室に登録されているボランティア団体については交流の機会がありますので、各団体内での周知について促していきます。	—
32	3	P11 P12	①図書資料の充実 ⑥保護者との情報交換等	幼児期からの絵本との触れ合いが、その後の読書習慣が形成されるとおもいます。	読書習慣の形成を目指し、幼児期から発達段階に応じた読書活動を推進する必要があります。ご意見を関係課で共有させていただきます。	—

33	4	P12	①学校図書館資料の整備	小学校の図書貸し出しについて、低学年では、本1冊でも荷物となります。電子書籍も検討していただきたい。	市内の児童生徒が電子書籍を読める環境づくりを進めているところです。	—
34	5	全体		子供は日本の財産です。現在の少子化は将来の日本に計り知れない程のダメージを与えます。いくら勤勉で優秀な民族でも少数民族に成り下がれば、国力はその他大勢の一つと言われる国になってしまいます。私は非常に危機感を感じています。	ご意見を関係課で共有させていただきます。	—
35	6	全体		ホームページを拝読しましたが、子供らの意見や希望は取り入れられているのかが分かりにくかった。	子どもの意見については、「読書に関するアンケート」やアンケートの自由記述において聞いています。	—
36	7	P4~P5	(6)「第三次伊賀市子ども読書活動推進計画」基本的な方針	図書館までの交通手段の拡充 学生の公共交通機関の無料化	ご意見を関係課で共有させていただきます。	—
37	8	P6	③家庭での読書環境の整備	子どもは親のぬくもりを感じないと本を好きにならない。抱っこでの読み聞かせ、文字が読めるようになったことを共に喜び時間。親が何かを読む(スマホ以外)様子を真似、同じ空間で読む静かな時間。関わりの進みも示してほしい。	ご意見のとおり家庭における読書の重要性は認識しており、本計画にそのことも記載しています。	—
38	8	P8	③職員の配置と資質向上	以前母親がスタッフに「1歳児に適した絵本?」と問い、うまく対応できていなかった。母親は明らかに不満そうだった。現役保育士や幼稚園教諭ならどうしたんだろう?子育てに手探りな母親に寄り添う言葉をかけてあげられたのではないだろうか?仕事の域を外れるかもしれないが、スキルは持ち合わせてほしいと思う瞬間だった。	今後も職員のレファレンスサービスの向上に努めます。	—
39	8	P14	《高等学校への働きかけ》	上野高校は図書室が離れており行きにくそうだった。クラス数が減った今なら教室と同じ建物の中への配置や、今は映えもぎっかけとなるので、そういったディスプレイや照明で工夫してもいいのではないだろうか。	ご意見を高校とも共有させていただきます。	—
40	8	P15	(3)読書活動に関する人材の育成	企業が勤務時間内に研修として取り入れてはどうか?企業も子育てアピールでき、親も取り組みやすくなるのではないだろうか。	ご意見として承ります。	—
41	9	P6~P13	(1)家庭 (2)地域 (3)学校等	家庭内では、仕事、家事、こどもの習い事など多忙が理由で、又、スマホやゲームの影響により、読み聞かせなどの読書の習慣を定着させるのが困難になっているように思う。よって、学童保育や市民センターに読み聞かせボランティアを派遣したり、夏休みなどには、学童保育の場にブックンを派遣して読書の時間をもうけたりするなど、依頼を待つのではなく、市の方から積極的に動くことが必要だと思う。又、中学校においては、クラブ活動として、読書クラブや新聞クラブなど、活字に親しむ活動を推奨してはどうかと思う。	子どもの読書活動を推進するためには、市としての積極的な働きかけはもちろんのこと、多様な主体との連携・協力が必要です。ご意見を関係課で共有させていただきます。	—
42	10	P7	《図書館・分館における取組》	市図書館、旧市庁舎移転大変良いと思います。私見で、サービスについて。図書館の本が全巻インターネットで何かあるが観られる様にするサービスはとれます。もちろんだが、貸し出し中かどうかも表示出来る。実施する方法は、バーコードを利用すれば出来ると思います。これを実施する事で利点ですが、本の管理が楽になると思います。	すでに実施しているサービスですが、さらにDXの向上に努めます。	—
43	11	P9	⑫優れた取組の紹介	取り組みとして、読書感想文の応募を増やして推進する。例えば各年齢層で。	読書感想文の応募数は増加傾向にあります。今後も推進に努めます。	—
44	12	P9	⑬小学生・中学生・高校生向け読書活動の充実	社会見学や、職場体験学習の受入を行うことが大事だと思う。	左記の受入をさらに進めていきたいと考えます。ご意見を関係課で共有させていただきます。	—
45	12	P17~P18	4 計画の指標について	本を読むのが好きな児童では、小学生が一番多いので、その習慣を大人になるまで持ち続けるように工夫したい。学校で、週に2回以上一斉読書をすれば、読書の習慣がつくと思う。中学生・高校生になるにつれて自分のやりたい事が増えるので、学校で読書の時間をとるのが良いと思う。	各指標の目標値を目指し、計画的に取組を進めていきたいと考えます。ご意見を関係課で共有させていただきます。	—

46	13	全体		<p>子供の読書活動について。読書を意識させるには小さい時から絵本を始め本に慣れ親しむ事が大切です。しかし、子供に本を読む、与える親の世代が読書しないのは、さらに子供に読書を意識させるのが難しい。また、本を買うにも本屋が無くなる一方です。図書館等に行くにも子供だけでは不便です。その周りの環境から整えて行く必要があると思います。幼稚園や保育園、小学校の低学年には絵本等に慣れ親しんでもらい、その上の学年には読書感想文を提出とかではなく、学年皆が同じ本を授業の中で読み何を感じるのか、感受性を高める学習も必要では？我々世代は宿題で感想文を提出しました。だから？かも知れませんが、今も本を読みます。豊かな心にしてくれるのには読書は良いと思います。</p>	<p>読書感想文については、すべての学校で取り組んでいます。また、ピブリアバトルやセット文庫等の多様な活動も行い、子どもの読書活動の推進を図っています。</p>	—
47	14	P7	①図書資料の充実	<p>図書資料の充実はぜひとも進めて欲しいと思います。ネット環境が充実している今だからこそ、それを越える魅力的な図書を見つけるきっかけにしてほしいです。</p>	<p>子どもにとって魅力ある図書資料の収集に努めます。ご意見を関係課で共有させていただきます。</p>	—
48	15	P2	(1) 子どもの読書活動の意義	<p>読書は必要なことですが、印刷物だけでなくタブレットの利用や子供たちが興味をもって読めるようなコンテンツの充実も重要だと考えます。</p>	<p>紙媒体の資料だけでなく、デジタル形式や視聴覚資料等も含め、今後もそれらの充実に向けて取り組んでいきます。</p>	—